

本園の保育教育目標： 愛のうちに喜びをもって生き、自分の力で発見し、つくり出しつつ、みんなと共に伸びゆく子ども

幼保連携型認定こども園聖十字幼稚園

学校関係者評価委員会による幼稚園見学アンケートまとめ 2025年度

	評価項目	評価					評価の理由 意見 感想など
		最適	良	適切	不足	改善	
1	園庭環境 ①遊具	2	1				園庭の遊具は定期的な安全管理をされており、安心して園児が使えるようになっている。
2	園庭環境 ②自然物		2	1			水槽の魚や夏季の昆虫の飼育が盛んで園児の興味関心を喚起している。園庭にピオトープが欲しい。
3	園庭環境 ③広さやつくり	2	1				運動会が出来る広さが確保されており、安全も配慮されている。植物栽培にも活用できるスペースがある。
4	園舎環境 ①室内遊具		2	1			園児が好きな遊びを選択できるように準備されている。コーナー遊びも盛んである。
5	園舎環境 ②明るさ	3					吹き抜けから光が入り、明るい採光の中で園児が過ごせている。
6	園舎環境 ③物の収納・配置		1	2			箱や棚に遊具や個人の道具を収納できるようになっており、整理整頓されている
7	園舎環境 ④図書コーナー		1	2			書籍は豊富に用意してあるが、読書コーナーのスペースがもっと広いと園児が楽しめると思う。
8	園舎環境 ⑤壁面装飾	1	1	1			季節に合った装飾がゴテゴテせずに自然に活かされている。木の温かみが安心出来る
9	園舎環境 ⑥トイレ・流し台	2	1				清潔感があり、整えられている。手洗い場も安全な環境が整えられている
10	保育部 ①園児の姿	1	2				いつ来ても泣いている子がおらず、笑顔で過ごしているのが印象的。穏やかに遊んでいる。
11	保育部 ②保育教諭の姿	2	1				声掛けがとても穏やかでも、否定的な言葉を使っていないのが素晴らしい。優しく寄り添っている。
12	保育部 ③安全・安心	3					園児の数に対して大人の数が多く、安全に見守られている。机や棚の角等にクッション部材が配慮されている。
13	教育部 ①園児の姿	3					大人の指示待ちではなく、自分たちで遊びたいものを選択し、友だち同士で活動している姿が主体性の現れだと感じました。
14	教育部 ②保育教諭の姿	2	1				園児への声掛けがとても穏やかで、子ども主体を見守っている姿がある。「いいね」と肯定的な言葉を園児にかけている。
15	教育部 ③安全・安心	1	2				避難訓練を毎月実施していること、普段の園児の体調や危険予防の取り組みをしている。
16	保育者以外の職員の姿	1	2				事務所の職員の方も丁寧に案内していただきました。問題はありません。
	集計数	23	18	7			

総括・意見集約： (2026年2月5日 AM： 学校関係者評価委員・園長・副園長参加)

園児学評価としては不足・改善がなく良が最も多く、学校関係者評価委員会による評価としては良とするも改善点もみられる為、今後に繋げていく

自己評価： 教育部・保育部全体の自己評価を平均化すると B(おおむね達成した)とするが、要改善項目もいくつかある為、

総合的な評価結果：B より良い環境構築と今後の保育教育に活かせるように組織的に取り組んでいく。

次年度の「より丁寧な保育・教育」の推進のために活かしていく所存である。

2025年度学校評価委員会総括会 2026年2月5日開催 聖十字幼稚園マリア館にて 学校評価委員全員参加、園長・副園長参加にて開催

園長より今年度運営方針と運営報告

◆少子高齢社会における認定こども園の役割と方向性

- ・子どもファーストの園運営「こどもを真ん中においた議論」が大切。おとなの都合で議論すると子どものニーズと乖離した「おとな園」になってしまう。
- ・子どもの命と人権を守る →当たり前のようで、実はそれが守られていないことが多々ある。忘れないように。
- ・子育て支援、大人のニーズを的確にとらえ、子どものために活かすこと。 おとなのニーズを子どものために昇華させていく工夫とアイデアを。
- ・地域社会との連携 防災や治安の為に必要不可欠です。
- ・上記を踏まえた園の運営アクションプラン

保育部園児定員の増加・地域の待機児童の解消に貢献する

保育部保育室の環境改善 →子どもが主体的に遊びたくなる環境を創造する

満三歳児クラスの充実(保育内容の充実・発達段階に応じた個別ケア)

保育教諭の増員→これが最も大変。地域から保育者がいなくなっている。絶体絶命です。

教育部園児を対象にした課外活動の設置の検討(選択プログラムの導入)

就学前年長児を対象にした人権教育の推進(CAPワークショップの導入)

保育教諭の保育士等キャリアアップ研修受講の必須化

非常勤保育教諭・保育補助員への資質向上研修の提供

上記により、経営持続性を保ち、地域に信頼される園であること

職員一人ひとりが地域の子どもを愛し、希望と意欲をもって従事できる職場であること

既成概念や従来の経験習慣にとらわれず、AI時代に向けて新たなチャレンジをしていくことを強力に推進中である。